

令和7年度概算要求発表 来年度の補助金情報をピックアップ

8月末に国の令和7年度予算の概算要求が発表されました！ 補助金情報をご紹介します



経済産業省 省エネルギー設備への更新を促進するための補助金

毎年行われている国内最大級の省エネ補助金。過去は「エネ合」と呼ばれていた補助金の後継の補助事業になります。概算要求には新規公募分も一部含まれているとのこと。

【概要(設備単位型)※令和6年度実績を踏まえた想定】

- ・対象企業:大企業、中小企業(但し、大企業は省エネ法事業者クラス分け制度においてSランクorAランク)
- ・対象設備:変圧器・モータ・空調など予め指定された設備へ更新 ・補助率:設備費の1/3
- ・想定スケジュール:第一次公募:4月。第二次公募:6月



←経済産業省
令和7年度
概算要求

環境省 脱炭素技術等による工場・事業所の省CO2加速化事業

SHIFT事業と呼ばれる脱炭素計画に沿った設備投資を行う事業です。今回の概算要求では令和7年から11年までの5年を事業期間としています。

【概要(省CO2型設備更新支援)※令和6年度実績を踏まえた想定】

- ・対象企業:大企業、中小企業
- ・対象事業:「CO2削減計画」を提出し、それに則った設備投資を実施。CO2削減計画の達成を実現させる
- ・補助率:設備費・工事費1/3 ・想定スケジュール:3月～10月において断続的に公募



←環境省
令和7年度
概算要求

そのほか、倉庫向け・事務所向けの補助金も概算要求に含まれています！ご相談ください！



GHG算定の手順 一気によりもコツコツ

脱炭素の基本は「計測」「減らす」「オフセット」の3ステップです。その第一ステップが計測です。「GHG」は温室効果ガスを指し、要するにCO2排出量です。

よく“モノ”にCO2が付与されるとわれがちですが、実際はサプライチェーン内の各企業が排出するCO2が積み重なって自社の排出量となります。

最初に算定をすべきはScope1とScope2です。つまり、燃料消費と電力購入（厳密にはフロンや冷温水・蒸気等）の算定からスタートすることが望ましいです。

算定にはルールがあるものの、それを読み解くのが難しいという実態があります。また、外部機関の保証を付与しなければ、信頼性が不十分な情報とみなされます。まずは、購入している燃料や電力といった数値の集計から始めることが求められます。

濱坂電機ではGHG算定の情報提供も行っていますので、お声がけください。

■電気制御工事部門のご紹介

GHGを減らす努力も大切ですが、 設備稼働の“最適化”はもっと重要。

算定を終えた後に取組むのは「削減」です。具体的には省エネ性の高い設備への更新や、省エネ技術を用いた施策の活用です。しかし、省エネ性が高い設備への更新といっても限界があります。削減段階に入るときにもう一つ考えていただきたい視点が“最適化”です。

- ・生産プロセスにおける設備稼働の無駄削減
- ・油圧システムにおけるアンロード運転の最適化
- ・コンプレッサ制御の最適化運転の実現
- ・炉体における循環ファン制御の最適化 等々

もっと効率の良い方法で生産プロセスを組めないかという視点で改善を図ることが、省エネ・GHG削減には大きく寄与します。

当社の制御工事をご提案させていただきます。

濱坂電機では制御工事部門を有しています。今までに上記のような運転最適化に向けたご提案を数多く施工してきた実績があります。「削減」においては、省エネ施策に合わせて、最適化を追求することが重要となります。その最適化の過程にはデジタル技術の活用があります。製造ラインDXといった側面でもご提案をさせていただきます。

ハマNavi通信 Staffより



脱炭素と経済合理性を
両立させ、時代の
流れに合わせた
成長を提案したい。

取締役
脱炭素提案営業チーム
田中

お客様からの脱炭素要望が高まっています。以前は「省エネ」という言葉が主流でしたが、最近では明確に「脱炭素」というお言葉を多く聞くようになりました。

省エネの時は「投資回収年数」という明確な指標がありました。脱炭素では取組みそのものの“重要性”が現場を動かしていると感じます。また、そのスピード感も徐々に増しているように思います。

事業成長と脱炭素を両立させるためには、コスト削減という視点が必要であり、当社はその点を重視し、ご提案活動を進めてまいります。ぜひ、皆様にもご提案の機会をいただけますと幸いです。



濱坂電機株式会社

脱炭素提案営業チーム 担当：新井（アライ）

群馬県伊勢崎市境伊与久1938 TEL (0270) 76-5591 FAX (0270) 76-5590

Mail: carbon-z@hamasaka.co.jp



脱炭素のご相談から電気設備・電気制御まで、右記のQRコードよりご相談ください！